

## 「宮に初めて参りたるころ」テスト問題

【一】本文について、設問に答えよ。

①宮に初めて参りたるころ、ものの恥づかしきことの数知らず、涙も落ち②ぬべければ、夜々参りて、三尺の御几帳の後ろに候ふに、絵など取り出でて見せさせ給ふを、手にても《X》《さし出づまじう③わりなし》。④これは、とあり、かかり。それか、かれか。」などのたまはず。高坏に参らせたる御殿油なれば、髪筋なども、⑤なかなか昼よりも顕証に見えてまばゆけれど、念じて見などす。いと冷たきころなれば、さし出でさせ給へる御手のはつかに見ゆるが、いみじうにほひたる薄紅梅なるは、⑥限りなくめでたしと、見知らぬ里人心地には、⑦かかる人《Y》《は世におはしましけれと、おどろかるるまで》《Z》《まもり参らする》。

問一 次の語句の読みを、ひらがな（現代仮名遣い）で答えよ。

①几帳 ②高坏 ③御殿油

問二 傍線部①とあるが、この部分の解釈として最も適切なものは次のうちどれか。

ア 中宮に初めて誉めてもらえた、ということ。

イ 中宮のもとに初めて参上した、ということ。

ウ 立派な宮殿に初めて参内した、ということ。

エ 普段から宮殿に参内していた、ということ。

問三 傍線部②の文法的説明として、最も適切なものは次のうちどれか。

ア 完了の助動詞＋推量の助動詞

イ 強意の助動詞＋推量の助動詞

ウ 完了の助動詞＋可能の助動詞

エ 強意の助動詞＋可能の助動詞

問四 《X》に入るべき副詞をひらがな一字で書け。

問五 傍線部③はどのようなことが原因で出たものか。本文から七字で抜き出せ。

問六 傍線部④が指示しているものを、本文から抜き出せ。

問七 傍線部⑤の現代語訳として、最も適切なものは次のうちどれか。

ア なかなか朝よりも美しく見えて恐ろしかったけれども、

イ なかなか昼のほうであらわになつて気まづいけれども、

ウ かえって朝のほうが光が強くてまぶしくなつたけれども、

エ かえって昼よりもはつきりと見えて恥づかしいけれども、

問八 傍線部⑥について

(1) 現代語訳しなさい。

(2) 作者がこの気持ちになつた原因を三十五字で探して、初めと終わりの三字のみ書け。

問九 傍線部⑦は誰のことか。漢字四字で答えよ。

問十 《Y》《Z》に入るべき助詞を次の選択肢より選び記号で答えよ。

ア ぞ イ も ウこそ エ か

問十一 出典と作者を漢字で答えよ。